

豊富な写真、絵画でたどる日独の歴史 長らく切望された日独交流史に関する日本語論文集



日独交流150年の軌跡



日独交流史編集委員会 編

ペーター・パンツァー(ボン大学名誉教授)

久留島浩(国立歴史民俗博物館教授)

保谷 徹 (東京大学史料編纂所教授)

箱石 大(東京大学史料編纂所准教授)

宮田奈々(オーストリア国立アカデミー近現代史研究所客員研究員)

後援/ドイツ連邦共和国大使館

フロイデンベルク社 NOK株式会社

協力/公益財団法人日独協会 独日協会連合会

A4 判変型 274×220mm 上製 360頁 本文フルカラー

図版234点 52論文 ISBN 978-4-8419-0655-4

定価 3.990円 (本体3,800円)



オイレンブルク伯爵肖像



青木周蔵と娘、孫娘



日本とドイツは国交樹立150周年 を迎えた。プロイセンのオイレンブ ルク伯爵と江戸幕府が修好通商条約 を結んだ1861年以降、日本とドイツ には、友好関係を物語る多くの史実 がある。ドイツに留学した森鷗外、 外交官でドイツ人女性と結婚した青 木周蔵、日本の近代医学の父といわ れるエルヴィン・ベルツ。明治維新 後の日本はドイツを近代化のモデルと し、世界の列強に負けない国を作ろう とした。その後の第一次世界大戦中に

は両国は敵味方になったが、ドイツ人俘 虜と日本人の間に生まれた温かい交流から、多く

の技術が伝えられた。本書はこうした日独の150年に亘る長い歴史を、豊富な写真や絵画とともに通観する。



森鷗外 (左)



杉原千畝



収録論文

| # オーレンアルク模菌間と1独側体の側立 ペーター・パンツァー 学家の 贈り物 ―― 一田ルフートランド・ファント 学家の 贈り物 ―― 「日本 と 日本 の 日本 と 日本 と | 第1章 日独交流の嚆矢 | ドイツ東洋文化研究協会(OAG) | |
|---|---|----------------------------------|---------|
| | オイレンブルク使節団と日独関係の樹立 ペーター・パンツァー | | |
| | | 究協会コレクション トム・グリグル | |
| 第4章 ヴェルサイユ条約から第二次世界大戦まで 第大学 アイスシー 第4百 大 第一次世界大戦以前の独目貿易 カティヤ・シュミットボット 第2章 日独交流の資金時代 第2章 日独交流の資金時代 スプエン・サーラ ドイツに目を聞いた日本 エッセンとベルリンにおける岩倉使節団 一クラス・ガルム=ライファーシャイト白唇 電力 コア・メッケル少佐 お届い外国人、プロイエン参謀等校 1 サコブ・メッケル少佐 お届い外国人、プロイエン参謀等校 1 サコブ・メッケル少佐 お届い外国人、プロイエン参謀等校 1 サコブ・メッケル少佐 お届い外国人、プロイエン参謀等校 1 世界での設めき 日本の西音音楽の章制別におけるドスクレータフィアス・レルシュフィルト 2 内の資子 における日熱のとした日本の内で音楽の章制別におけるドスクレータフィアス・レルシュアルクト 1 日然育子と技術分野における日独の学問移転:第一次地界大戦さで 1 大ツを侵襲とした日本の医学 アイアス・レルシュアルト 2 大ツを侵襲とした日本の医学 アク・アナーターサース・バンシア 1 大ツにおける音楽のので開発を:第一次アテーターサース・バンシア 1 大ツにおける音楽のから 日本の世界を介がしていっか。 第4年 第4年 1 大海に第4年 2 大海に乗り車で入りの連る 第4年 2 大海に第4年 2 大海に乗り車で入りの連る 第4年 2 大海に第4年 2 大海に乗り車で入りの連る 第4年 2 大海に第4年 2 大海に乗り車で入りの連る 第4年 2 大海に第4年 2 大海に乗り車の上の自身で入りファーター・バンツアーターが、ベルツー 日本近代医学のタ スプリッド・フリッチュ おぼこれ 2 大海に第4年 2 大海に乗り車 2 大海に乗り車 2 大海に前に着4年 2 大海に第4年 2 大海に第4年 2 大海に第4年 2 大海に第4年 2 大海に第4年 2 大海に前に着60 分 第4年 2 大海に第4年 | プロイセンにおける竹内使節団――ドイツの地を踏んだ最初の日本人 | | |
| 及長戦争とプロイセン 第名 大 | | 第4章 ヴェルサイユ条約から第二次世界大戦まで | |
| ## 一次世界大戦後のドイツ回接画定問題と日本委員 空田奈幸 | 戊辰戦争とプロイセン 箱石 大 | 両大戦の間――ヴェルサイユ条約から日独同盟、そして総力戦へ | |
| # 2章 日独交流の資金時代 分々の大いでは、 | 第一次世界大戦以前の独日貿易 カティヤ・シュミットポット | | |
| 日独関係の「黄金時代」 | 第2章 日独交流の黄金時代 | 第一次世界大戦後のドイツ国境画定問題と日本委員宮田奈々 | |
| ドイツに目を開いた日本 | | | |
| 大・大田 大田 | | | |
| 清水周蔵 | | | |
| 明治憲法の制定とドイツの影響 ―――――――――――――――――――――――――――――――――――― | | ドイツ語が輝いたとき——大正昭和戦前期の旧制高等学校における | |
| **コブ・メッケル少佐 ―― お届い外国人、プロイセン参謀辞校 トピアス・エルンスト・エシュケ | 明治憲法の制定とドイツの影響 | | |
| び進曲と神々の煌めき — 日本西西洋音楽の草創期におけるドイツの役割 | | | |
| 自然科学と技術分野における日独の学問移転:第一次世界大戦まで | | | |
| 日然料字と技術分野における日独の学問移戦: 第一次世界大戦まで エーリッピ・パウアードイツを模範とした日本の医学 | | 「武士の娘」(邦題:新しき土) ——日独合作映画で交わる芸術とプ | |
| ドイツを模範とした日本の医学 | | リヒャルト・シュトラウス ——大管弦楽のための日本の皇紀 | |
| エルヴィン・ベルツ――日本近代医学の父・・・・スザンネ・グルマン 森鷗外と独日文化の橋渡し役・・・ベアーテ・ヴォンデドイツにおけるジャポニスム――芸術と好奇心の間にある日本への熱狂・・・・ベーター・バンツァー日本の俘虜収容所における青島の守備兵たち・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | ドイツを模範とした日本の医学フランク・ケーザー | | |
| ### ### ### ### ### ### ### ### ### ## | | | |
| ### | 森鷗外と独日文化の橋渡し役ベアーテ・ヴォンデ | | |
| 日本の俘虜収容所における青島の守備兵たち | | | |
| 田本とが下夢な名所にありる青高ので開発だら。 | | | |
| 明治日本はドイツだけを手本としていたのか | | | |
| #3章 学術交流・日本研究 ドイツにおける日本学・日本研究 | 明治日本はドイツだけを手本としていたのか | | |
| #3章 学術交流・日本研究 ドイツにおける日本学・日本研究 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | |
| ドイツにおける日本学・日本研究 ヴォルフガング・サイフェルト ヴァレニウス、カロン、ケンペル — シーボルト以前にヨーロッパ における日本理解を深めた人々 デートレフ・ハーバーラント フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトと日本開国への影響 コンスタンティン・フォン・ブランデンシュタイン=ツェッペリン ルール大学ボーフムのシーボルト・アーカイブズ ロギーネ・マティアス 呉秀三のシーボルト研究 レギーネ・マティアス 以来の日独アジェンダに取り上げるべきものは何か 宮坂正英 世紀転換期の日本人によるドイツ像 — 1900年から1902年のベル リンにおける巌谷季雄 バルトムート・ヴァールラーヴェンス 日独学術交流の再出発 — 2人のノーベル賞受賞者 アルベルト・アインシュタインとフリッツ・ハーバー エーレッド・パウアー おれわれの経済協力のための課題 | | | |
| における日本理解を深めた人々 デートレフ・ハーバーラント フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトと日本開国への影響 コンスタンティン・フォン・ブランデンシュタイン=ツェッペリン ルール大学ボーフムのシーボルト・アーカイブズ レギーネ・マティアス 具秀三のシーボルト研究 レギーネ・マティアス 世紀転換期の日本人によるドイツ像 — 1900年から1902年のベルリンにおける巌谷季雄 ハルトムート・ヴァールラーヴェンス 日独学術交流の再出発 — 2人のノーベル賞受賞者 アルベルト・フィンシュタインとフリッツ・ハーバー エーレッヒ・パウアー われわれの経済協力のための課題 | | | |
| ディリック・フィン・フィン・フィン・フランデンシュタイン=ツェッペリン ルール大学ボーフムのシーボルト・アーカイブズ 場所三のシーボルト研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | ドイツにおける日本の武道の伝播と育成 ダヴィッド・ベンダー | |
| <td color="100" pixe<="" pixes="" rowspan="2" td="" =""><td></td><td></td></td> | <td></td> <td></td> | | |
| 具秀三のシーボルト研究 | | | 第6章 未来へ |
| 世紀転換期の日本人によるドイツ像――1900年から1902年のベル リンにおける巌谷季雄 //// トムート・ヴァールラーヴェンス 日独学術交流の再出発――2人のノーベル賞受賞者 アルベルト・ アインシュタインとフリッツ・ハーバー エーレット・パウアー 日本とドイツ―― われわれの経済協力のための課題 | | | |
| リンにおける巌谷季雄 ハルトムート・ヴァールラーヴェンス 日本とドイツ ―― 学術・科学技術協力 ハンス=エルク・シュテーレ 日独学術交流の再出発 ―― 2人のノーベル賞受賞者 アルベルト・アインシュタインとフリッツ・ハーバー エーレット・パウアー われわれの経済協力のための課題 | 世紀転換期の日本人によるドイツ像――1900年から1902年のベル | | |
| 日独学術交流の再出発——2人のノーベル賞受賞者 アルベルト・ アインシュタインとフリッツ・ハーバー TーLive : パウアー 日本とドイツ—— われわれの経済協力のための課題 | リンにおける巌谷季雄ハルトムート・ヴァールラーヴェンス | | |
| 1 1 2 2 1 4 4 2 2 1 1 9 2 1 N - N - N - N - N - N - N - N - N - N | | | |
| | , イマンユッイマとテリック・ハーハー········· エーリッヒ・ハワアー | | |



株式 雄 松 堂 書 店 Home Page: www.yushodo.co.jp

本社:〒160-0002 東京都新宿区坂町27 Tel: 03-3357-1411 Fax: 03-3356-8730 E-mail: sales@yushodo.co.jp 京都:〒604-8101 京都市中京区御池通柳馬場角 京都朝日ビルディング5F Tel: 075-222-0165 Fax: 075-256-2032 E-mail: kb@yushodo.co.jp